

事務事業名		観光施設維持管理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		
	施策名	0 3 にぎわいあふれる商業・観光の推進		区分		
	基本事業名	0 3 観光宣伝の充実		単年度繰返		
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入		
所属	部課名	商工港湾部観光交流推進室		【開始年度】		
	課長名	古内 弘一		-		
	係名	-		年度～		
	担当者	川畑 大	電話 0192-27-3111	-		
			内線 115	事務事業区分		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				E 一般		
市内各所にある市管理観光施設等を適切に維持管理するとともに、海水浴場を安全で快適に利用してもらうため、漂着物除去等の環境整備を行う。 また、自然保護管理員を3人配置し、市内の国立公園及び県立自然公園を適切に管理する。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
				総投入量 (千円)	国庫支出金	
					都道府県支出金	
					地方債	
					その他	
					一般財源	
					事業費計(A)	0
				正規職員従事人数		
				延べ業務時間		
				人件費計(B)	0	
				トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) ・現場での状況確認、草刈 ・自然保護管理員委託による巡視や登山道保全等 ・基石椿園整備 ・観光施設等倒木処理(珊瑚島、基石海岸) ・海水浴場環境整備 ・観光施設公衆トイレ等の清掃、修繕	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様	ア -
	イ
	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市内観光関係施設	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ 観光入込客数(暦年) 千人
	キ 海水浴場来場者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適切に維持管理される。	ク
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・大船渡市を訪れた方に魅力を感じてもらい、リピーターになってもらう。 ・大船渡市の魅力がPRされ、認知度が高まる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
	サ 苦情・不具合件数 件
	シ
	ス

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	2,614	2,942	5,172	4,093	5,888	5,888	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	4,854	10	181	235	1,324	1,324	
		一般財源	千円	8,807	14,523	8,447	8,996	10,521	10,521	
		事業費計(A)	千円	16,275	17,475	13,800	13,324	17,733	17,733	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間	128	128	128	128	128	128	
		人件費計(B)	千円	512	512	512	512	512	512	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	16,787	17,987	14,312	13,836	18,245	18,245	
⑤活動指標	ア	-	0	0	0	0	0	0		
	イ									
	ウ									
⑥対象指標	カ	千人	430	484	584	638	797	817		
	キ	人	0	0	3,692	4,119	4,200	4,300		
	ク									
⑦成果指標	サ	件	0	0	0	0	0	0		
	シ									
	ス									

事務事業ID	0465	事務事業名	観光施設維持管理事業
--------	------	-------	------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和39年に陸中海岸国立公園に碁石海岸が編入されたことを契機として観光客が増加。その利便を図るための観光施設整備に付随し維持管理が必要になった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	施設の経年劣化により、利用者の多い公衆トイレ等の施設では消耗している部品の修理、交換が多くなってきている。施設によっては利用を中止し、廃止や取壊を検討している場所もあるが、草刈やゴミ拾い等の維持管理に苦慮している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	施設の維持管理について継続して実施してほしいと要望がある。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <b>▽ 理由・内容</b> この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？ 観光施設を良好な状態で維持管理することにより、観光客の利便を図ることとなるほかイメージアップにもなり、リピーターの増加に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <b>▽ 理由・内容</b> なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設を良好な状態で維持管理することは市の義務である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <b>▽ 理由・内容</b> 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象は市内観光施設であり、その維持管理を行うことで間接的に観光客を対象とする事業である。修繕工事等によって施設の維持管理を図るため、意図も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない <b>▽ 理由・内容</b> 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 経年劣化等により修繕を要する施設等が増加してきている。今後、インバウンド関係で観光客を誘致するとすると、施設の維持管理が重要となると考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <b>▽ 理由・内容</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 本事業を廃止・休止した場合、施設を良好な状態で維持できなくなり、苦情や不具合が増加すると考えられる。結果的に観光客の減少に繋がる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <b>▽ 理由・内容</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 専門的な知識・能力が必要なもの以外は職員で対応しておりコストを低く抑えていることから、これ以上の削減は出来ない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <b>▽ 理由・内容</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) コスト低減のために専門的な知識・能力が必要なもの以外は職員が対応することとしている。業務時間は必要最小限にとどめており、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <b>▽ 理由・内容</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 観光客をはじめ、施設を利用するすべての人が受益者であり公平である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	不具合が生じた市管理観光施設については、随時、修繕を行っているものの、施設利用者の安全性の確保に加え、利便性や満足度の向上を図るためには、引き続き適切な維持管理に努める必要がある。 また、市内各所にある観光施設については、大船渡市公共施設等個別施設計画等に基づき適正に維持管理するとともに、碁石海岸の景観整備や吉浜海岸の復旧整備については、国や県と協議を継続しながら進めていく必要がある。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。(現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」)(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	・大船渡市観光物産協会等の関係機関と連携し、定期的な巡視等を行いながら、不具合箇所については迅速な対応に努める。 ・碁石海岸や珊瑚島の景観整備、吉浜海岸海水浴場の復旧など、国や県と協議を行いながら対応していく必要がある。